

えりも町立えりも小学校入学式



P2~3 新議長に たかまつ すけひろ 高松 亮裕 氏 を選出
令和7年度 予算の概要
P4~5 予算特別委員会 質疑
令和6年度 第8回定例会

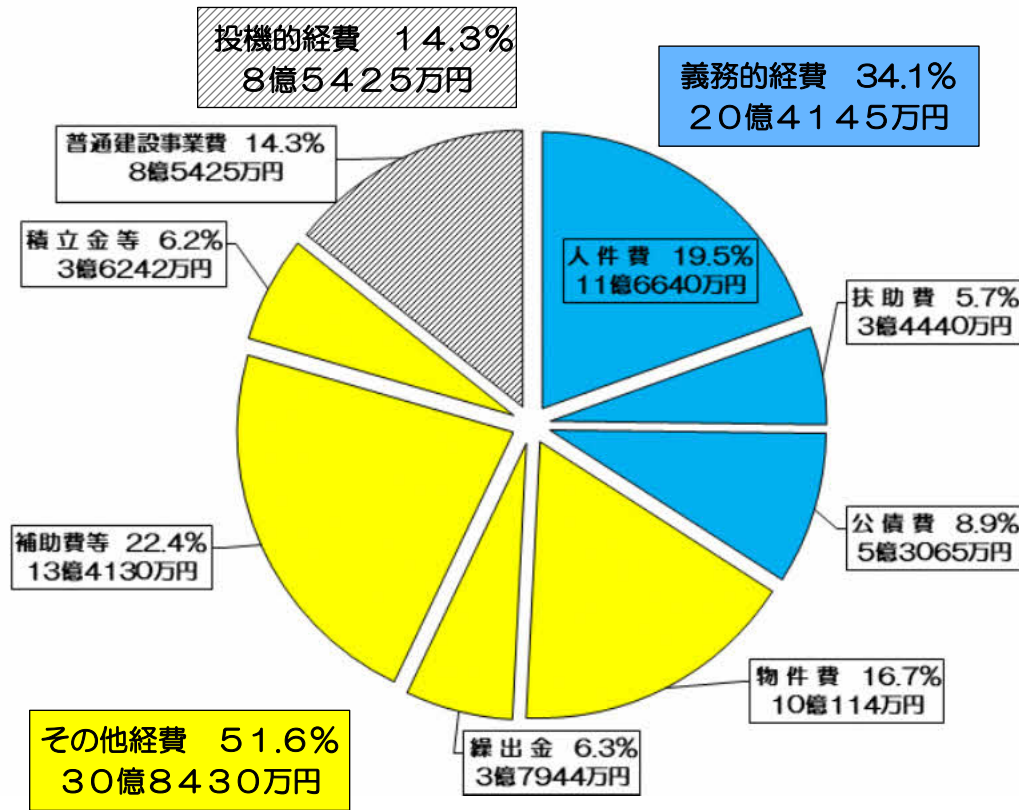
P6~10 一般質問 6名10件
P11 全員協議会
P12 この人に聞く
地域おこし協力隊 やだ あつき 矢田 惇稀 さん

祝・入学 4月9日、えりも小学校で入学式が行われました。10名の新1年生は、6年生のエスコートで入場し、一人ひとりの紹介では元気な返事で答え、集合写真では満面の笑みで思い思いのポーズをとっていました。

剪
度
比

6億9000万円増

歳出59億8000万円



第1回臨時会

(4月2日)

新議長に

たかまつ すけひろ
高松 亮裕 氏 (68)

石川昭彦前議長の議員辞職に伴い、4月2日、第1回臨時会が開かれ、新議長に高松亮裕議員が選出されました。任期は令和9年4月30日まで。



【就任のご挨拶】

議員各位のご推挙をいただき、議長の職に就くことになりました。
当町における労働力・後継者不足の問題は、産業や公共交通においても深刻な課題です。津波などの自然災害や地球温暖化による水産業への影響も懸念されます。
当町を取り巻く環境を的確に把握し、諸課題解決のために誠心誠意取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

主な新規・継続事業

○新規事業

- ・キャンプ場管理棟改修工事 1960万円
- ・消防通信指令システム等更新事業 1億4387万円
- ・教員住宅整備事業 7503万円
- ・除雪車購入事業 6500万円
- ・国立公園PR事業 596万円
パンフレット、ポスター、近浦と目黒の看板を更新
- ・えりも高校運営に係る
地域おこし協力隊員の増員等 1140万円
- ・えりも高校の放課後活動充実のための
スクールバス運行事業 249万円

○継続事業

- ・目黒地区緊急避難施設等整備事業 1億4909万円
想定される津波被害に対し避難施設を建設する事業
- ・消防団第7分団詰所移転事業 5192万円
想定される津波被害に対し第7分団詰所を建設する事業
- ・普通河川工事（幌泉川浚渫） 1420万円

令和7年度一般会計予算

歳入59億8000万円

予算特別委員会の委員長は
竹内孝文議員
が務めました



自主財源 29.6%
17億6787万円

寄付金・繰入金・繰越金 17.7%
10億5948万円

財産収入 0.5%
2773万円

分担金・負担金 0.3%
2069万円

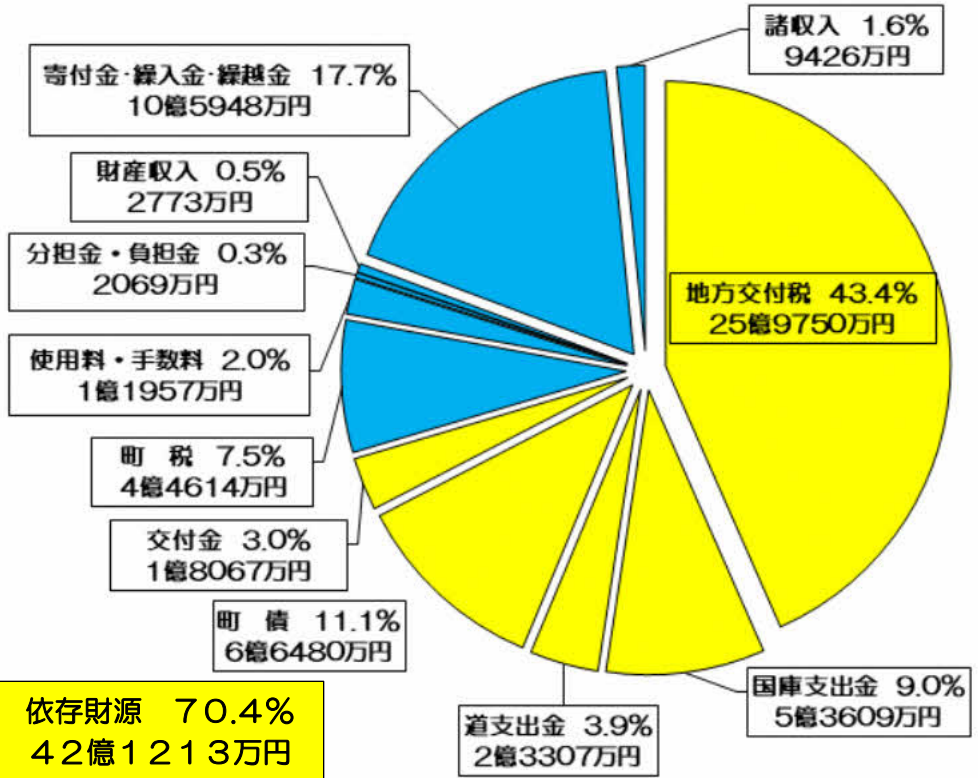
使用料・手数料 2.0%
1億1957万円

町税 7.5%
4億4614万円

交付金 3.0%
1億8067万円

町債 11.1%
6億6480万円

依存財源 70.4%
42億1213万円



● 予算総括表

単位(千円)

会計区分	予算額	前年比
一般会計	5,980,000	690,000
国民健康保険特別会計	904,000	-56,000
診療所特別会計	393,000	-99,000
介護保険特別会計	497,000	9,000
後期高齢者医療特別会計	80,000	-2,000
小計	1,874,000	-148,000
総計	7,854,000	542,000



棟才28
1年が経過
トキヤン
ンプした
場管理
人浜

○ 公営企業会計

単位(千円)

公営企業会計	予算額	前年比
簡易水道事業	198,638	7,565
下水道事業	313,777	38,878
合計	512,415	46,443



テ救急
ムを更
新等
の通
信シ
ス

予算特別委員会

予算特別委員会2日目の3月14日、令和7年度の予算案に対する質疑応答が行われました。各委員から多くの質疑がありました。内容を抜粋し掲載します。

タクシー事業

質疑（高松）

日光ハイヤーに対する補助金が昨年より60万円増額されている理由は。また何を基準にして補助額を決めているのか。

答弁（企画課長）

燃油・物価高騰及び第2種免許取得費用分として増額した。補助金額は収支報告書に基づき赤字分を補填している。



体制の運用で、1名の手配も確保する。日光ハイヤーの運転手は1名確保する。

保育児童のおむつ

質疑（橋本）

消耗品の中に衛生材料費があるが、子どものおむつを無料にすることはできないか。

答弁（町民生活課長）

現状、無料ではないので検討する。

近浦多目的集会施設前の遊具

質疑（上野）

遊具は、昨年、老朽化のため撤去されたプランコト思いが設置時期は。

答弁（町民生活課長）

発注してから2〜3か月かかるため、新年度に入ってからなるべく早く取りかきたい。

灯台公園公衆トイレ

質疑（橋本）

灯台公園公衆トイレの1日の清掃回数は。また、灯台公園に防犯カメラ設置を提案したがどうなったか。

答弁（産業振興課長）

清掃回数は1日1回だが、必要に応じて回数を増やす。防犯カメラは未設置で、再度検討する。



新築になり利用者が増えた灯台公園公衆トイレ

ヒグマ捕獲補助金

質疑（高松）

1回の出勤、捕獲した時の報奨金はいくらか。発砲許可は誰がだすのか。また警察、役場、猟友会の間で、指揮命令系統の徹底はされているか。

答弁（産業振興課長）

出勤1時間につき1500円、捕獲1頭につき3万円である。これまで当町では発砲捕獲の例はないが、令和7年4月から発砲許可権限は町に移管されるので、警察や猟友会と運用を協議していきたい。

質疑（石川）

ハンターは自分の仕事をもちながら出勤しなければならぬ。責任や危険が伴う中、出勤1時間につき1500円は見直すべきでは。

答弁（産業振興課長）

他町の例も参考にしながら検討したい。

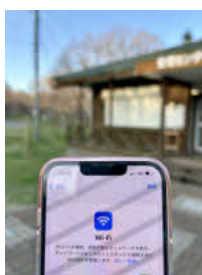
キャンプ場の携帯電話の電波

質疑（大場）

キャンプ場の管理棟を改修する計画があるが、場内は携帯電話の電波状況が悪く、利用者から改善の要望がある。三十二（無線通信）の設置も含め検討しては。

答弁（産業振興課長）

電波状況の改善は電話会社と相談している。三十二の設置は前向きに検討する。



電波が改善されるよう、場内状況を確認する。

えりも海岸鉄梯子補修工事

質疑（上野）

補修箇所と選定方法は。

答弁（建設水道課長）

箇所は大和地区である。選定は計画を決めて順次進めている。

高等学校管理費

質疑（橋本）

えりも高校に配置する「地域おこし協力隊」の内容は。

答弁（教育長）

えりも高校の環境を様々な視点で調査・分析するため委託する。人材は、教員経験者1名が常駐し、もう1名は企業人である。

質疑（中野）

生徒数確保対策事業補助金の内容は。

答弁（高校事務長）

他の町から通学する生徒への通学の補助金である。



えりも高校存続に向け様々な取り組みを実施している

屋外用バスケットゴールとダンベルの購入

質疑（大場）

それぞれの設置場所と安全管理は。

答弁（社会教育課長）

バスケットゴールは、スポーツ公園のテニスコートに設置し、冬期間は撤去し保管する予定である。

ダンベルは、町民体育館のギャラリィに設置予定で注意書きの看板も設置する。



子ども議会での要望に応え、バスケットゴールがスポーツ公園に、ダンベルが町民体育館に設置される

中学校部活動強化助成金の増額

質疑（嵯峨）

助成金が23万円増額している要因は。

答弁（学校教育課長）

合同チームの練習等を送迎している保護者の負担軽減のため交通費を助成する。



生徒数の減少により団体種目の一部は近隣中学校と合同チームを組んでいる

水産多面的機能発揮対策事業負担金

質疑（中野）

事業の内容は。

答弁（産業振興課長）

真ツブ資源回復のため、他漁協から真ツブを購入し放流する事業やウニ種苗放流後の追跡調査費である。

第8回定例会

(3月14・15日)

補正予算

◎令和6年度

一般会計(歳出)

・企画振興費

3563万円

各種防災資機材とそれを保管するための備蓄用コンテナを購入する費用

えりも福祉会へ補助金

・特別養護老人ホーム運営費補助金

1800万円

・介護保険ショートステイ事業補助金

650万円

・介護保険デイサービス事業補助金

100万円

事業運営の資金が不足するため追加交付

・運輸業エネルギー価格高騰支援補助金

60万円

エネルギー価格の高騰により影響を受けている運輸業者に対する補助金(1件につき30万円)

・映画「北の流水」(仮題)協賛負担金

330万円

企業版ふるさと納税寄付金と個人からの寄付金の映画協賛金を計上

・映画製作観光推進基金積立金

430万7千円

令和5年度に個人版ふるさと納税として映画製作に関する指定のあったものを財政調整基金から映画製作観光推進基金へ

人事

・えりも町公平委員の選任

大和

木村 徳美(60歳)

再任



嵯峨直樹議員

問 安心安全な保育環境を

答 町民生活課・教育委員会と連携し進めていく

【嵯峨】 津波災害が心配される中央保育所の避難訓練に昨年9月に参加した。未満児は保育士がおんぶと抱っこで裏山に登り、バスに乗りして

しかし、大雪が降った時など、同じような避難ができるのか疑問を感じた。

バスによる避難訓練の実施状況は。

【答弁】 保育所の近くにはバスがないこと、また、運転手も常駐していないため実施は見送ったが、来年度は実施を検討する。

【嵯峨】 次年度より策定に着手される第7期総合計画に新園舎の建設は盛り込まれるか。その場合、具体的な計画になるのか。

【答弁】 認定こども園園舎の建設計画は盛り込む。また、2月26日に開催の「えりも町子ども子育て会議」において、津波浸水区域外への新築移転について承認されたこと

を踏まえ、町の財政状況を見極めながら時期を含め検討をする。

【嵯峨】 こども園運営のスムーズな移行に向け、専門部署の設置は考えているか。

【答弁】 移行前だけでなく、移行後も見据えていくのが望ましいと考える。管内では、えりも町と平取町を除く5町で専門部署が設置されているが、職員不足から設置は難しい。保育所を所管する町民生活課と教育委員会と連携し進めていく。



中央保育所の避難訓練の様子。災害時は裏山へ避難する

問 清掃センター焼却停止の周知を

答 ホームページや広報誌で周知する

【嵯峨】 1月開催の地区別町政懇談会で、清掃センターでの燃やせるごみの焼却を完全停止する報告があった。出席者は概ね納得していると思うが、多くの町民は、「なぜ、修理をしないのか」「運

搬費用がかかり料金が上がるのでは」「分別方法が変わるのでは」「直接搬入がでなくなるのでは」などと不安に思っている。

町民に對しどのように周知するのか。

【答弁】 町民の理解を得られるよう、ホームページや広報誌での周知と、地区別説明会を開催する予定である。

【嵯峨】 清掃センターの今後はどうなるのか。

【答弁】 故障からまだ3か月で、現時点では具体的に何も決まっていない。今は日々発生するごみをどの様な体制で処理していくかを最優先

【嵯峨】 ホームページは、閲覧できない方もいるので、早急に広報誌での周知を。

【答弁】 広報4月号で記事がチラシで周知する。



清掃センターへ搬入された燃やせるごみはパッカー車へ直接投入される



高松亮裕議員

問 ごみ減量化対策の推進を

答 減量化に向け 検討を進める

【高松】 町民への啓発、自治会や学校への出前講座、細分化したごみ分別パンフレットの定期配布、飲食店や利用者に対して食べ残し持ち帰りなどの周知が必要では。

【高松】 希望する処理機の購入や補助金の手続きが同時にできる場を設置しては。

【高松】 旧焼却場に大型生ごみ処理機の設置、堆肥化施設の建設を。

【高松】 当町の生ごみ焼却施設は老朽化のため廃炉とし、令和7年4月から燃やせるごみは類似町へ運搬し処理することになった。ごみ減量化推進のため、費用対効果を十分に検証し、慎重に検討する。

【高松】 広報誌やホームページで発信するほか、必要に応じて実施する。また、国が進める食べ残し持ち帰りガイドラインを参考に対応していきたい。

【高松】 町民のごみ減量化意識に効果的ととらえ、前向きに検討する。

【高松】 費用対効果を十分に検証し、慎重に検討する。

費用対効果を十分に検証し、慎重に検討する。



生ごみ処理機による乾燥化もごみ減量化に効果的

【高松】 昨年、日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生したが、具体的な取り組みが見えない。映画のクラウンクインも近づき、当町への注目度が一層高まるこの機会に、観光客や関係人口の増加に向けて動き出すべきではないか。

「コンブポートクルーズ」「豊似湖一周ハイキング」「猿留山道歩

問 滞在型・体験型観光の実現を

答 地域おこし協力隊を増員し進めていきたい

【高松】 昨年、日高山脈襟裳十勝国立公園が誕生したが、具体的な取り組みが見えない。映画のクラウンクインも近づき、当町への注目度が一層高まるこの機会に、観光客や関係人口の増加に向けて動き出すべきではないか。

【高松】 当町の観光はかねてより通過型の観光が主体で、滞在型への転換が課題である。本年3月に任期満了となる地域おこし協力隊が退任後も滞在し、豊似湖ハイキングなどの観光ガイドをするので協力していきたい。また、現在キャンプ場の運営をお願いしている2名の協力隊に加え、新たに2名を採用し、体験型観光資源の開発に努めたい。近隣4町で組織する「とんがりロード観光協議会」とも連携し、広域的な観光の掘り起こしも進めていきたい。



コンブポートクルーズなど様々な体験を組み合わせることで滞在日数が増え、当町への経済効果も増大する



橋本維応議員

問 下水道の維持管理は

答 点検、調査・改修を段階的に進めていく

【答弁】 下水道施設は、平成14年3月から供用開始し23年が経過した。本町地区の国道は、築後25〜27年、役場前通りが、築後24〜28年経過しているが、これまで劣化や損傷等に伴う補修はない。

【橋本】 下水道管の対応年数は50年といわれているが、今後の更新計画は。

【答弁】 令和10年頃を目途に下水道事業を維持管理をしていく長期計画「ストックマネジメント計画」を作成し、今後の老朽化の進展状況等を考慮しながら、点検や調査、改修等を実施していきたい。

【橋本】 下水道料金値上げの可能性は。

【答弁】 下水道事業は、当初から使用料だけでは足りず、不足財源は一般会計からの補助金

特に交通量の多い本町地区国道や役場前通りの下水道管の築年数と補修状況は。

に依存している。

経営状態は、施設の維持管理費や老朽化に伴う更新投資の増大、人口減少に伴う料金収入の減少等により、一段と厳しさが増す状況にある。

令和7年度に経営戦略を策定し、料金改定も視野に入れた適正な使用料の検討が計画作成の重要事項であり、今後慎重に進めていきたい。



町道山の上裏通り線（役場前通り）で下水道陥没事故は発生していない

【橋本】 現在の清掃センターの築年数、機能不能の原因、新たに施設を建設する場合の概算費用は。

【答弁】 築年数は34年である。

機能不能の原因は、ごみクレーンのケープルが熱のため断線し停止したものであるが、老朽化による設備の破損や性能劣化による複合的な要因が絡んでいる。

問 ごみ処理施設の今後は

答 単独での建設は極めて難しい

新たに建設する場合、約40億円程度かかると思われるが、物価高や資材高騰等の現状を踏まえると、更に高額になると思われる。

国の交付金等を活用し、いかに一般財源を抑えるかという点が重要となるが、これら交付金等の採択要件にはごみ処理の広域化が原則である。

町単独で建設する場合、そのすべてを一般財源で賄う事になり、将来世代に莫大な負債を残すことを考えると、単独での建設は極めて難しい。

【橋本】 他町へのごみ運搬が主流となっていくと予想されるが、ごみ袋の料金の改定はあるのか。

【答弁】 ごみをリサイクルし、減らす工夫が必要になると思うが対策はない

直接搬入された燃やせるごみの堆積状況。いかにごみを減らすかが課題である



か。

【答弁】 料金の改定は現在考えていないが、今後、町のごみ処理対策等を踏まえ、慎重に見極めていきたい。

リサイクルや減量対策は、住民・事業者・町が意識を改め、町全体で取り組んでいかなければ解決しないものと考えている。このことから、一人ひとりができることを再認識できるように、ごみ関連パンフレットの刷新を図りたいと考えている。



神田 修議員

問 映画製作の進展状況は

答 公開可能な情報を 広報誌で周知

【神田】 映画「北の流水」（仮題）は新年を迎えても仮題のまま推移し、出演者の発

表がない。本題の決定や主演者の発表がない現状では「7月のクランクインが本当に大丈夫なのか」と不安の声がある。盛り上がりも感じられない中で、新年度の執行方針では「俳優などが参加して7月から撮影を開始する」と述べているが、現時点での見通しは。

【答弁】 映画のタイトルや出演者公表は、宣伝上で最も効果の見込まれる時を選んで発表される。4町では地域を盛り上げるためにも、ロケ前の出演者を含めた製作の記者発表をお願いしているが、現時点では公表時期が決まっていない。



映画撮影の前撮りをする田中監督と撮影スタッフ

現状では、監督、脚本、音楽担当しかわからず、公開情報が少なく、やや盛り上がり欠けていると認識している。新年度予算では灯台公園周辺にPR看板などを設置し、映画の機運醸成に努める予定である。

問 除雪の出動基準等は

答 積雪10cm以上が出動基準だが 臨機応変に対応

【神田】 ここ数年来の降雪状況は減少傾向と感じているが、除雪の出動基準は。動きさせている。また、10センチに満たない場合でも、スリップ事故や吹き溜まり防止のために、早期除雪で路面乾燥を早めるよう対処している。

【答弁】 降雪が概ね10センチメートルを超え、引き続き降雪が予想され、吹き溜まりなどで交通に支障があると判断した際に除雪車を出動させている。【神田】 少ない降雪時に除雪車が動いては、機械の消耗もあって、その費用が無駄なのではと感じている方の声が聞こえている。また、他機関の降雪対応は色々な基準が設けられ、作業現場写真やタコメーターなどの提出を求めているそうだが、当町も同様な取り扱いをしているか。【神田】 回送時間は作業時間に含まれるのか。報告内容は、実施日、除雪時間、除雪箇所などである。



降雪状況により出動する除雪車両



中野公浩議員

文字モニュメント 設置の検討を 費用対効果を考慮して 検討する

【中野】 国立公園化を記念して町のシンボルとなる文字モニュメントを設置してはどうか。

近年、観光スポットでは、文字モニュメントが設置され、例えば、札幌ではSAPPORO、釧路ではKUSHIROの文字である。

当町は観光地であり、モニュメントが設置されれば新たな観光スポットとなり、多くの来町者が記念撮影を行うことができる。

さらにSNS等に投稿してもらうことにより、当町のPRの一環になると考えるが。

【答弁】 近年、全国各地でご当地モニュメントが設置され話題となっている。

文字モニュメント完成イメージ



があるとの調査結果も出ている。文字モニュメントを設置して、いわゆる「映えスポット」を町内に作ることは、町の交流人口増加施策や観光PR活動の一環に成り得ると考えている。

しかし、塩害や強風など気象条件の厳しいえりも町に文字モニュメントを設置する場合、他の町より費用が嵩むことが考えられる。

笛舞小学校閉校後の 校舎の後利用は 閉校までに 方向性を示したい



上野陽司議員

【上野】 笛舞小学校が令和9年3月で閉校することが決まった。今後の課題として校舎の後利用がある。

【答弁】 地域の声を聞くための協議の場を年2回程度開催する予定で、6月頃に1回目の会議を開催したい。

活用案は後利用の運営形態や誘致、公募実現への難易度など、旧東洋小の校舎の件で協議した内容を参考にしながら、様々な活用方法を模索・検討していく。

【上野】 教育委員会は、昨年10月の全員協議会で「2年間の準備期間があるので慎重に対応する」とのことであったが、町独自で後利用するとなれば、改修や予算面などを考慮すると、たった2年しかない。

また、インターネットによる公募の下準備として、令和7年度中に校舎や体育館の現状等を調査し「公募可」となれば、できるだけ早い段階で公募を開始することも考えている。

また、インターネットによる公募の下準備として、令和7年度中に校舎や体育館の現状等を調査し「公募可」となれば、できるだけ早い段階で公募を開始することも考えている。

また、インターネットによる公募の下準備として、令和7年度中に校舎や体育館の現状等を調査し「公募可」となれば、できるだけ早い段階で公募を開始することも考えている。

また、インターネットによる公募の下準備として、令和7年度中に校舎や体育館の現状等を調査し「公募可」となれば、できるだけ早い段階で公募を開始することも考えている。



国道からほど近く、2階からは太平洋が一望できる笛舞小学校の校舎

全 員 協 議 会

開催日 令和7年1月23日

※紙面の都合により
抜粋して掲載

えりも清掃センターの今後について

これまでの経緯

令和6年12月24日、清掃センターのごみクレーンが故障したことにより焼却処理を停止し、燃やせるごみの処理を広尾町と新ひだか町の焼却施設へ依頼している。



焼却を停止した「えりも清掃センター」

今後の対応

施設は稼働から34年が経過しており、近年はダイオキシン測定値が高い水準にあったこと、また、関連部分の修繕費だけで約1億5千万円かかり、それ以外の修繕箇所も多く、完全復旧には多額の費用を要することを受け、今後は清掃センターでの焼却を断念した。

令和7年度から、当町の「燃やせるごみ」は、様似町で受け入れしてもらう予定である。

開催日 令和7年3月4日

百人浜オートキャンプ場の利用料金改正について

改正の目的

令和6年度の百人浜オートキャンプ場の利用者は、令和5年度の2519名から3033名となり、利用料等の金額は246万7千円から397万1千円と増加した。現在のキャンプサイトの料金は、フリーサイトが310円、オートサイトが3190円と固定で定められているが、道内外のキャンプ場と比較しても、料金はあまりにも安く設定されており、市場にあわせた料金に見直し、施設運営や設備の改善に充てる。



利用者が増加している「百人浜オートキャンプ場」

改正の内容

- ・ キャンプ場の施設利用料金の上限額を設定
- ・ 設備の新設、維持管理等のコストの変動にも柔軟に対応できる形とする
- ・ 閑散期は料金を下げ集客、繁忙期には上げて利用単価の向上を目指す

えりも高校の今後について

えりも町外への公共交通手段が限られている中で、町内に高等学校があることは非常に重要であるが、少子化に伴い生徒数が年々減少する状況であり、相対的に上がり続ける運営コストなど、存続するにはどのような方策を選択すべきか重大な決断のタイミングが迫っている。

このことから「地域おこし協力隊」を活用し、えりも高校を取り巻く環境を様々な視点で調査・分析することで現状を見つめ直し、学校の存続に向けた取り組みを進める。

令和7年度の取り組み

①調査

えりも高校の現状把握、まちな環境分析、関係者へのヒアリング

②課題設定

カリキュラム・地域評価・競争優位性などの特性、令和8年度以降の目的と目標の設定など

この人に聞く

地域おこし協力隊

やだ あつき
矢田 惇稀さん (26)



1998年9月5日、埼玉県八潮市に生まれる。日本体育大学を卒業後、介護職員、IT関連の会社FoundingBase（ファウンディングベース）に転職し、地域おこし協力隊となる。独身。

▼えりも町に来た経緯は

元々過疎化地域に対する魅力発信といったことに興味があり、地域資源を活かした活動を仕事にしたいと思い転職活動をしている中で、現在の会社に出会いました。

今年の3月に入社が決まり、すぐにえりも町の地域おこし協力隊として活動する運びとなりました。

実は配属前、寒いのが苦手という理由で北海道は希望から外していたので、配属先を聞いた時は正直とても戸惑いました。でも、今では地元の人たちの温かさに触れ、美味しい食事を味わって、本当にえりも町で良かったと思っています。

▼えりも町の印象は

風が強いとは聞いていましたが、こんなにも普段から風が強く吹いているとは思いませんでした。また、北海道ということもあり食への期待はすごく高かったのですが、お寿司とズワイガニの美味しさは想像以上でした。鹿やキツネが当たり前のように車道を横断しているのにも驚きました。

▼現在の活動内容は

百人浜オートキャンプ場の運営を中心に、えりも町

の交流人口拡大に向けての調査・施策の提案をしています。

▼これからの目標は

まずは、今年度より条例改正が行われたキャンプ場の満足度を、いろいろなアイデアを出し合って前年度以上にしていきたいと考えています。

そして、キャンプ場からえりも町全体の魅力を町外へ発信できる取り組みを検討し、提案していきたいと思っています。

▼えりも町民へ一言

えりも町に来て日も浅く、まだまだ町の魅力を十分に

キャンプ場オープンに向けて準備作業に奮闘する矢田さん



理解できていないので、是非とも皆さんとお話して教えて頂ければと思います。

また、キャンプ場運営を中心に様々なイベントを検討していますので、遊びに来て頂けるととても嬉しいです。

(取材 嵯峨・大場)

議会の動き	
2月21日	議会改革特別委員会
2月26日	議会運営委員会
3月 1日	えりも高等学校卒業証書授与式
3月 4日	全員協議会 第8回定例会
3月13日	第8回定例会 予算特別委員会 広報広聴常任委員会
3月14日	えりも中学校卒業証書授与式 予算特別委員会 第8回定例会
3月27日	議会運営委員会
4月 2日	第1回臨時会
4月 8日	えりも高等学校入学式
4月 9日	えりも中学校入学式
4月11日	広報広聴常任委員会
4月16日	広報広聴常任委員会

議員雑感

今年の桜の開花予想は5月初旬です。この「議会だより」が届く頃には満開になっていることでしょう。桜には人の心を和ませるなど、様々な効果があるそうです。

最近の町内の明るいニュースといえば、約4年ぶりに採取が可能になった「うに」の復活です。新鮮なうにが町内の飲食店で食べられるようになったことは、全国のうにファンにとって嬉しいかぎりでは。来年は「うに祭り」が開催されることを期待します。

今年の「えりもの灯台まつり」は、50回記念として花火大会が盛大に行われるそうです。こちらも楽しみですね。

広報広聴常任委員会

委員長 竹内 孝文

副委員長 上野 陽司

委員 中野 公浩

嵯峨 直樹

大場 文裕